



■問い合わせ 財政課 ☎44-3628
 □ <http://www.city.gose.nara.jp/2930.html>



※掲載している数値および割合は端数調整を行っています。

令和元年度の一般会計決算は、歳入149億6,458万円、歳出147億5,021万円、差引2億1,437万円で、翌年度への繰越事業に伴う繰越財源9,065万円を差し引いた実質収支額は、1億2,372万円の黒字となりました。

一般会計決算

歳入	歳出	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支額
149億6,458万円	147億5,021万円	9,065万円	1億2,372万円

みなさんに納めていただいた税金は28億4,814万円で、市たばこ税は減少しましたが、市民税や固定資産税等は増加し、市税全体としては前年度と比較して2,619万円増加しました。また、国から交付される地方交付税は前年度より6,944万円増加し、市が自由に使えるお金が増えました。

令和元年度 会計別決算額

〔△はマイナスを表します。〕

会計名	歳入 A	歳出 B	差引 C = A - B	繰越額 D	実質収支額 E = C - D	
一般会計	149億6,458万円	147億5,021万円	2億1,437万円	9,065万円	1億2,372万円	
特別会計	国民健康保険	32億6,985万円	35億6,098万円	△2億9,113万円	0円	△2億9,113万円
	学校給食費	7,247万円	7,329万円	△82万円	0円	△82万円
	国民宿舎 葛城高原ロッジ	9,174万円	9,106万円	68万円	0円	68万円
	下水道事業	8億2,482万円	8億2,466万円	16万円	16万円	0円
	介護保険事業	36億3,217万円	35億6,237万円	6,980万円	0円	6,980万円
	後期高齢者 医療保険事業	4億4,009万円	4億3,953万円	56万円	0円	56万円
企業会計	会計名	収入 A	支出 B	当年度純利益 C = A - B	前年度繰越 利益剰余金(※) D	当年度未処分 利益剰余金(※) E = C + D
	水道事業会計 (収益的収支)	10億3,829万円	9億8,958万円	4,871万円	16億7,209万円	17億2,080万円

※利益剰余金は、現金・預金残高だけでなく、土地、建物、機械、構築物等の有形固定資産を含んでいます。

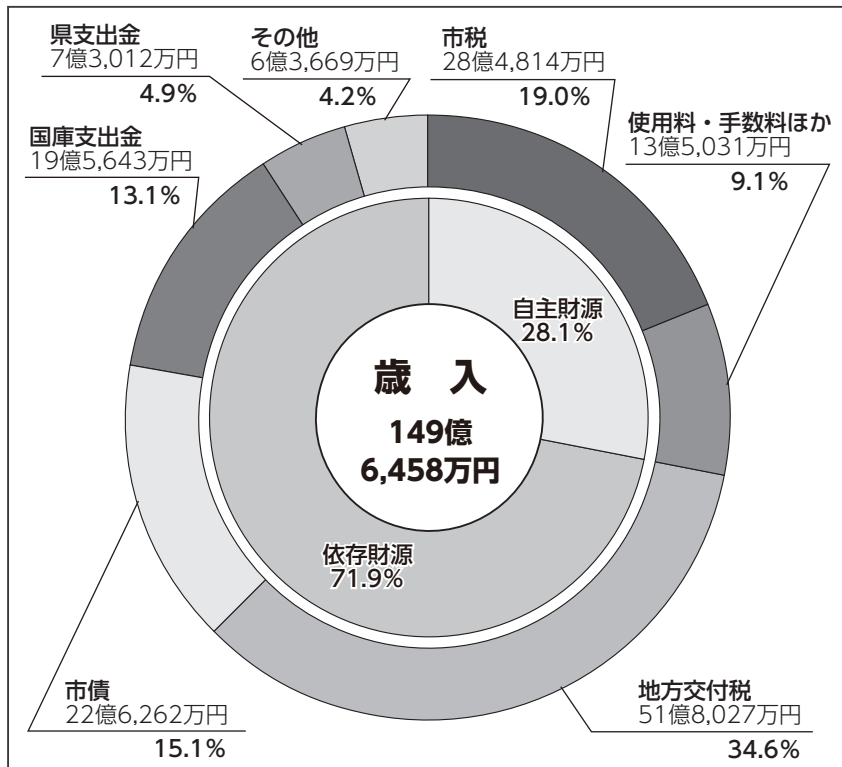
▶特別会計・企業会計について

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが特別会計です。

企業会計とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計がこれにあたります。

令和元年度「一般会計決算」の内訳をお知らせします。

歳入総額 149億6,458万円



◎歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金 (所得税など) の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県および金融機関などから借り入れたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金

☆自主財源

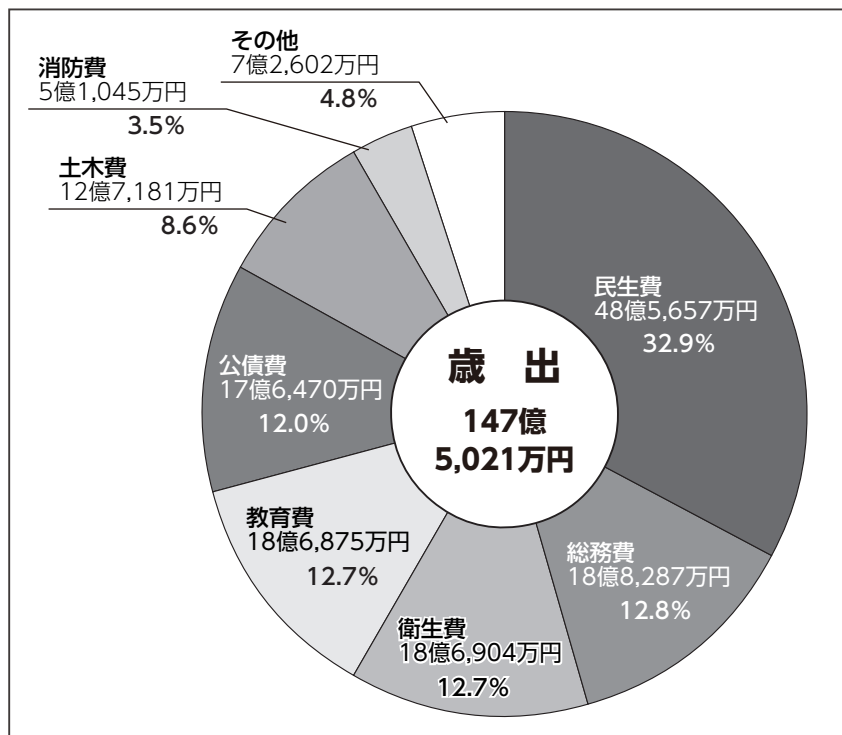
…市が自主的に収入できたお金

☆依存財源

…国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたお金



歳出総額 147億5,021万円



◎歳出

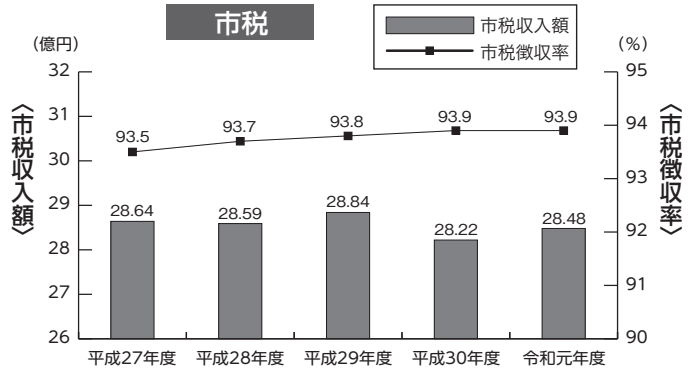
…市が使ったお金 (支出)

- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ごみ処理などの生活環境に使ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金
- 公債費…市債 (借金) を返済するために支払ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 消防費…消防・防災活動に使ったお金

《一般会計》
市税・市債残高・基金残高から見る
財政状況

市税の状況 ★★★★★

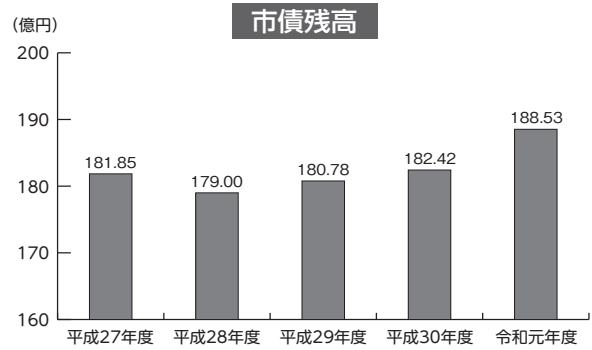
御所市の税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税があります。令和元年度においては、市たばこ税は減少しましたが、市民税や固定資産税等が増加しました。その結果、市税全体では、昨年度と比較して約2,619万円の増収となりました。



市債残高の状況 ★★★★★

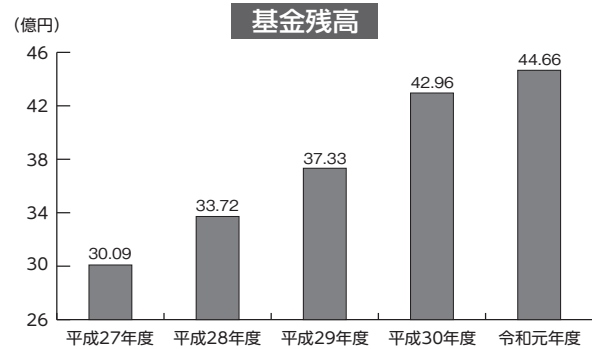
市債残高は、平成28年度までは新規発行の抑制や繰上償還の実施により減少傾向にありました。

しかしながら、令和元年度においては、市民運動公園の整備や市内小学校の空調設備の設置等のため新たに22億6,262万円を発行し、16億5,256万円を償還したため、発行額が償還額を上回り、残高は188億5,255万円となりました。



基金残高の状況 ★★★★★

市の貯金である基金は、令和元年度末残高は44億6,555万円となりました。



各種指標から見る **財政の健全度**

令和元年度の一般会計の実質収支は黒字となりましたが、果たして健全な財政運営ができていますでしょうか？いろいろな指標を使って見てみましょう。

※「早期健全化基準」とは、いわゆるイエローカードのことで、この基準を超えると「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化に取り組まなければならない。

健全化判断比率	項目	内容	令和元年度 (御所市)	早期健全化基準(※)
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	-	13.90%
	連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	-	18.90%
	実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	13.2%	25.0%
	将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	105.6%	350.0%

御所市の「健全化判断比率」は早期健全化基準以下となっています。

◎ 経常収支比率 104.3% ◎

経常収支比率とは、経常的な収入で経常的な支出をまかなえているかを判断するための指標です。100%を超えると臨時的収入（特別交付税等）を経常的な支出に充てたり、基金（貯金）の取り崩しが必要な状況となります。令和元年度決算の経常収支比率は104.3%で、前年度の105.9%から1.6ポイント改善したものの、依然として100%を上回っています。

令和元年度に実施した主な事業（一般会計）

民生費

老人福祉センター施設整備事業 3,379万円

老人福祉センターの屋根や外壁等の改修工事を行いました。

学童保育所整備事業 8,797万円

旧葛幼稚園跡地に葛学童保育所を新築しました。

総務費

JR御所駅周辺整備事業 1,578万円

JR御所駅舎の一部を改修し、JR御所駅まちかど案内所を整備しました。



総合計画・総合戦略策定事業 1,034万円

人口減少の克服や地方創生を目的として、「御所市第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

衛生費

火葬場整備事業 6,707万円

火葬場を整備するための用地を購入し、測量および地質調査を行いました。

教育費

小学校施設大規模改造事業 1億6,777万円

市内7小学校の空調の設置工事および大正小学校の体育館改修工事の設計を行いました。

市民運動公園整備事業 4億442万円

市民運動公園の管理棟および観覧エリアの整備を行いました。



土木費

危険空き家等解体工事補助金事業 1,184万円

老朽化した危険空き家等の解体工事を実施した人に対し、補助金を交付しました。

橋梁長寿命化修繕事業 3,949万円

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い橋梁の長寿命化のための修繕を行いました。



消防費

避難所誘導灯設置事業 581万円

災害時の避難の際に目印となるように、誘導用照明等の設置を行いました。

農林業費

総合治水対策事業 1,895万円

平成緊急内水対策事業の一環として、調整池となる用地を購入し、測量を行いました。

地籍調査事業 955万円

災害復旧の円滑化を図るために、土地ごとの所有者、地番、地目等の調査を行いました。

商工費

プレミアム付商品券発行事業 3,114万円



低所得世帯や子育て世帯（3歳未満の子どもがいる世帯）を対象に、プレミアム付商品券の販売を行いました。

創業支援事業補助金事業 100万円

地域経済の活性化を目指し、御所市で創業した人へ支援を行いました。

令和元年度
一般会計決算額を
市民1人あたりで
見てみると…

令和元年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万5,412人（令和2年3月31日現在）で割り、市民1人あたりの収入やかかった経費（支出）を算出しました。

収入	58万8,878円	(内、市税収入額11万2,079円)
支出 【経費】	58万 443円	(内訳)
		民生費 19万1,113円
		総務費 7万4,094円
		衛生費 7万3,550円
		教育費 7万3,538円
		公債費 6万9,443円
		土木費 5万 48円
		消防費 2万 87円
		その他 2万8,570円

